

会 場
仁愛大学

特例教科目

「教職論」	2 単位
「教育経営論」	2 単位
「教育課程論」	1 単位
「子どもの発達臨床」	1 単位

保育士証を有する者の**幼稚園教諭免許状取得特例コース**

教職論 (Theory of Teacher Education)		担当教員	鈴木 智子、木曾 利雄
会場	単位	講習日	開講形態
仁愛大学	2 単位	平成 29 年 7 月 29 日 (土) 平成 29 年 7 月 30 日 (日) 平成 29 年 8 月 26 日 (土) 平成 29 年 8 月 27 日 (日)	講義
<科目区分> 人間生活学部子ども教育学科専門科目 <教員免許法施行規則上の科目区分> 教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目) <科目に含めることが必要な事項> 教職の意義及び教員の役割 教員の職務内容(研修、サービス及び身分保障等を含む。) 進路選択に資する各種の機会の提供等			

資格・免許の要件

特例教科目の場合のみ幼稚園教諭免許状取得の必修科目とする。

授業の内容

大学における学び方を含め、教師教育の観点から自己を位置づけ、専門職としての教師に向けての基礎を培うことを目的とする。教職の意義及び教員の役割や職務内容等について、制度的、実態的側面から解説する講義を中心とする。

授業の到達目標

(鈴木智子)

1. 幼稚園における教職の意義、役割、職務内容などについて説明できる。
2. 現場における様々な問題を考察し、求められている幼児教育像についての考えを明確化する。
3. 自己の幼児教育観や教師像について考察するとともに、今後の学習目標や計画を明確化する。

(木曾利雄)

1. 小学校における教職の意義、役割、職務内容などについて理解する。
2. 社会の変化の中で、教育公務員として求められる教師のあり方・生き方について考える。
3. 小学校の教師として実践的な指導力を身に付けるため、自ら課題を持ち、継続して追求することができる。

授業の計画

- 第1回: ガイダンス 各自の幼児教育観と幼児教育者像を確認する(鈴木智子)
- 第2回: 幼児教育者の専門性(鈴木智子)
- 第3回: 幼稚園教諭の役割 (鈴木智子)
- 第4回: 幼稚園教諭の職務(鈴木智子)
- 第5回: 幼稚園教諭免許取得と専門性の向上(鈴木智子)
- 第6回: 教師間の協力体制について(鈴木智子)
- 第7回: 子育て支援について(鈴木智子)
- 第8回: 幼児教育者としての自覚と成長について(鈴木智子)
- 第9回: 教師とは何か(小学校の教師を中心に) ①教師の専門性、②教職という仕事の特質、③教師のリーダーシップ
(木曾利雄)
- 第10回: 小学校における教師の役割 ①授業をつくる、②授業から学ぶ、③子どもを育む(木曾利雄)
- 第11回: 教職の制度と教師の身分 ①「全体の奉仕者」としての教師、②教師の職務と権限、③基本的な教育法規
(木曾利雄)
- 第12回: 小学校教師としてのあり方・生き方 ①教育実習から新任教師へ、②教師としてのアイデンティティ、
③中年期の危機、④ベテラン教師として(木曾利雄)
- 第13回: 学び合うコミュニティとしての学校 ①学校という職場、②学校での授業の探求、③学校における同僚性
(木曾利雄)

保育士証を有する者の**幼稚園教諭免許状取得特例コース**

第14回:開かれた学校づくり ①学校評議員制度、②学校と地域社会との協働関係構築(木曾利雄)
第15回:教師の未来 ①新しい時代に求められる教師の資質・能力(木曾利雄)
成績評価方法
試験(70%)、平常点(30%) (平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。)
成績評価基準
(鈴木智子) 1.幼稚園における教職の意義、役割、職務内容などについて説明できるか。 2.現場における様々な問題を考察し、求められている幼児教育像について考えを明確化できているか。 3.自己の幼児教育観や教師像について考察するとともに、今後の学習目標や計画を明確化できているか。 (木曾利雄) 1.小学校における教職の意義、役割、職務内容などについて理解できているか。 2.社会の変化の中で、教育公務員として求められる教師のあり方・生き方について考えることができているか。 3.小学校の教師として実践的な指導力を身に付けるため、自ら課題を持ち、継続して追求することができているか。
テキスト、参考図書
なし。 適宜資料を配布する。
その他(受講上の注意)
なし。

保育士証を有する者の**幼稚園教諭免許状取得特例コース**

教育経営論 (Educational Administration)		担当教員	奥谷 崇
会場	単位	講習日	開講形態
仁愛大学	2単位	平成29年8月6日(日) 平成29年8月20日(日) 平成29年9月9日(土) 平成29年9月17日(日)	講義
<科目区分> 人間生活学部子ども教育学科専門科目 <教員免許法施行規則上の科目区分> 教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目) <科目に含めることが必要な事項> 教育課程の意義及び編成の方法			

資格・免許の要件

特例教科目の場合のみ幼稚園教諭免許状取得の必修科目とする。

授業の内容

我が国では、家庭や地域の教育力が低下し、今、教師の確かな教育経営力が求められている。困難な様々の教育課題の解決が望まれている今日、教育問題の本質の解明を目指し、アクティブラーニングや集団討議を充実させ、課題解決能力を高める。また、教育問題の解決と教師としての人間力・指導力・人間関係力の一層の充実を図る。

授業の到達目標

教育経営の基礎知識を理解し、実践的な教育経営能力を培うことができる。
 教育課題について考え合い、解決方法を見つけ、問題解決能力を高めることができる。
 時事問題や自らの生活を見つめ、謙虚に自己の向上と充実を図り、教育者としての自己形成能力を養うことができる。

授業の計画

- 第1回:教育経営論の学習計画
- 第2回:教育経営と教師
- 第3回:教育経営と憲法
- 第4回:教育経営と教育法規
- 第5回:教育経営と学校組織
- 第6回:教育経営と学習指導要領
- 第7回:教育経営と学習指導
- 第8回:教育経営と学校・学級経営
- 第9回:教育経営と生徒指導
- 第10回:教育経営と教育課題
- 第11回:子どもの成長と教育
- 第12回:子どもの問題と教育
- 第13回:求められる教師と教育
- 第14回:自己課題と教育課題の解決法
- 第15回:教育経営論の確立

成績評価方法

レポート50% 平常点50%
 (平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断します。)

成績評価基準

時事問題について自分の意見をまとめ発表することができる。
 仲間の発表を聞き、意欲的に話し合いをすることができる。
 話し合い、講義を通して自分の考えの深まりをまとめることができる。

テキスト、参考図書

テキスト：なし

参考図書：なし

その他（受講上の注意）

授業外の学習方法：

新聞記事や日常生活の中で関心のある教育問題を見つけ、自分の考えや疑問をまとめる。絶えず教育に関する書籍をもとに関連知識を身につけ、自己の教育観を深める。

その他：

私語・居眠り・携帯・無気力厳禁

保育士証を有する者の**幼稚園教諭免許状取得特例コース**

教育課程論 (Theory of Curriculum)		担当教員	鈴木 智子
会場	単位	講習日	開講形態
仁愛大学	1単位	平成 29 年 9 月 16 日(土) 平成 29 年 10 月 1 日(日)	講義
<教員免許法施行規則上の科目区分> 教職に関する科目(教育課程及び指導法に関する科目)			
<科目に含めることが必要な事項> 教育課程の意義及び編成の方法			
資格・免許の要件			
特例教科目の場合のみ幼稚園教諭免許状取得の必修科目とする。			
授業の内容			
本授業では、子どもの主体的な遊びを内容とする幼児教育において、子どもの発達に必要な指導計画の意義・編成を理解し、実際に計画を立案する力を養うこと、また計画を実践に移した後も指導目標と照らし合わせた上で教育に対する反省・評価を行い、再び指導の目標設定に移るまでの循環的な流れを身につけることを目的としている。 テキストや参考図書を基に講義を中心とするが、グループで話し、指導計画を立てることで、他の受講生と意見交換をし、考えを深める機会を設ける。			
授業の到達目標			
教育課程の意義について説明することができる。 幼児理解から指導計画の作成、評価までの流れを説明することができる。 短期の指導計画と長期の指導計画の関連について説明することができる。 短期、長期の指導計画案を立てることができる。			
授業の計画			
第1回: 幼児教育の基本的役割と教育課程 第2回: 教育課程の編成1(幼児理解) 第3回: 教育課程の編成2(内容とねらい) 第4回: 教育課程の編成3(環境構成) 第5回: 教育課程の編成4(実践と評価) 第6回: 保育記録の意義 第7回: 保育記録の生かし方 第8回: 長期と短期の指導計画			
成績評価方法			
試験(70%)、グループ討論の参加態度(20%)、平常点(10%) (平常点は、授業への参加状況、受講態度等を総合して判断する)			
成績評価基準			
教育課程の意義について説明することができるか。 幼児理解から指導計画の作成、評価までの流れを説明することができるか。 短期の指導計画と長期の指導計画の関連について説明することができるか。 短期、長期の指導計画案を立てることができるか。			
テキスト、参考図書			
なし。 適宜資料を配布する。			
その他(受講上の注意)			
授業外の学習方法: 予習として、配布資料の各回に該当する部分を読み、あらかじめ疑問点を考えておくこと。 復習として、配布資料やノートを見直し、自分の言葉で説明できるように理解を深めること。			

保育士証を有する者の**幼稚園教諭免許状取得特例コース**

子どもの発達臨床 (Clinical Development of Children)		担当教員	水田 敏郎	
会場	単位	講習日		開講形態
仁愛大学	1 単位	平成 29 年 7 月 15 日(土) 平成 29 年 7 月 22 日(土)		演習
<教員免許法施行規則上の科目区分> 教職に関する科目(生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目)				
<科目に含めることが必要な事項> 幼児理解の理論及び方法				
資格・免許の要件				
特例教科目の場合のみ幼稚園教諭免許状取得の必修科目とする。				
授業の内容				
発達障害全般の基本的理解を目標に、発達障害のなかに含まれる様々な障害について、それぞれの障害メカニズムと心理的特徴、臨床的問題について解説します。さらに、それらをふまえた具体的な支援方法について理解をはかります。				
授業の到達目標				
発達障害全般の定義や臨床像、障害メカニズムについて理解する。発達障害に対する基本的な支援方法について理解する。				
授業の計画				
第1回:発達障害の概要 第2回:自閉症スペクトラム障害(ASD)の心理・生理・病理特性と支援 第3回:注意・欠陥他動性障害(AD/HD)の心理・生理・病理特性と支援 第4回:学習障害(LD)の心理・生理・病理特性と支援 第5回:その他の障害①(知的障害と肢体不自由) 第6回:その他の障害②(感覚障害) 第7回:まとめ 第8回:試験				
成績評価方法				
試験(70%) 平常点(30%) (平常点は、授業への参加状況、質問用紙などの提出状況などを総合して判断します。)				
成績評価基準				
発達障害全般の定義や臨床像、障害メカニズムについて理解することができたか。 発達障害に対する基本的な支援方法について理解することができたか。				
テキスト、参考図書				
テキストは使用しません。 授業中にプリントを配布します。 参考図書は授業中に示します。				
その他(受講上の注意)				
なし				